

産業界と連携した授業「電気工事への理解を深める」

1 はじめに

科目「実習」のねらいは、実際の作業を通して工業の各専門分野に関する知識と技術を総合的に習得させ、将来の産業社会に貢献し、技術革新主体的に対応できる能力と態度を育てることである。

本研究では外部の専門家を招き、電気工事の内線、高所作業車での体験、高圧ケーブルの圧着接続作業、金属間の曲げ加工に関する授業を行い、実際に現場で用いられる工具を使いながら実習を行い、電気工事に関する理解を深めさせた。

日 時 平成28年12月15日（木）3時間
場 所 電気工事室・大駐車場
授 業 実習
対 象 電気科2年（男子39名）
テーマ 「電気工事への理解を深める」
講 師 福島県電気工事工業組合 青年部 吉田 誠 様

2 授業内容

1 校時目 実演

・内線工事实演

分電盤の取り付け、スイッチボックスの取り付け、ケーブルの接続、ジョイントボックスの取り付け、スイッチボックスの穴あけ、スイッチの接続

2 校時目 体験

・高所作業車試乗 ・金属管曲げ加工 ・高圧ケーブルの圧着接続 ・配管の取り付け工事
・危険予知・リスクアセスメントによる安全講習

3 校時目

・社会人とのグループディスカッション
（6人のグループに分かれ実施）

3 内線工事实演



4 高所作業車試乗



高所作業車試乗においては、ヘルメット、安全ベルトの重要性について再認識した。

5 金属管の曲げ加工



6 高圧ケーブルの圧着接続



7 配管の取り付け



8 危険予知・リスクアセスメントによる安全作業講習



9 グループディスカッション



10 記念撮影



11 おわりに

今回の研修会は電気工事に関する理解を深めるために実施したが、現場で行われている作業等を知ることができ、大変有意義であった。今後も電気工事業界と連携を深め、実社会に通用する人材の育成を図りたい。